

施錠見守り防犯システム

取扱説明書 Ver1.0

本書は本製品を正しく使用するために必要な設定・使い方を説明しています。ご使用前に、本書をよくお読みの上正しくお使いください。またこの取扱説明書は大切に保管してください。

INDEX

- 1.はじめに
- 2.取扱上のご注意
- 3.準備
- 4.使い方
- 5.お知らせメール機能
- 6.FAQ
- 7.動作確認

GCOMM

■お問合せ窓口

ご質問の前に、まずQ&A（FAQ:よくあるご質問）をご参照ください。
お電話でのご質問は、弊社サポートセンターまでお問合せ下さい。

サポートセンター 電話：0120-028-966（フリーダイヤル）

最新マニュアルの参照
ソフトウェアのダウンロード

http://www.gcomm.co.jp/se_support/

ジーコム株式会社

GCOMM

1. はじめに

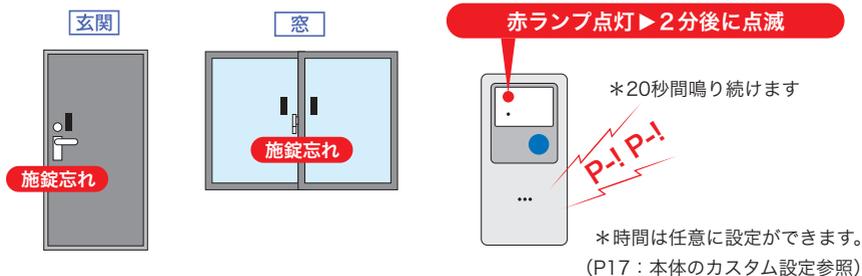
何ができる？

施錠見守り防犯システムは玄関や窓の施錠や開閉をみまもり続けるシステムです。

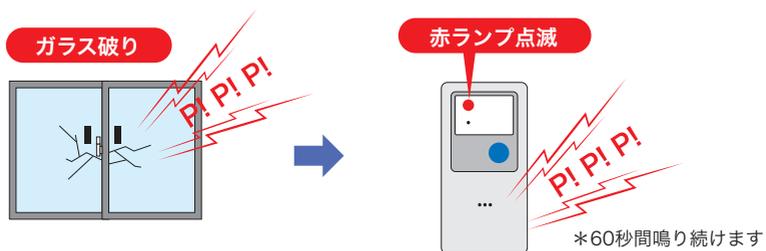
玄関や窓の状態をセンサが自動的に監視します。



玄関や窓の施錠忘れをお知らせ音で知らせてくれます。



ガラス破りの侵入行為にはセンサと本体が警報音を放ちます。



どうやって使う？

システムは自動で稼働しているため電源のオン/オフ や セット/リセット等の操作は不要です。

更に便利な使い方！

外出時のお知らせメール機能

インターネットを利用して携帯電話等でお知らせをメールを受け取る事ができます。



- 本サービスに利用料金はかかりません
- 本体をインターネット回線とLAN接続する必要があります（モバイル回線は不可）
- 本体の設定にはパソコン等が必要です

2. 取扱い上のご注意

お客様の安全のために

本表示は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使い頂くための内容を記載しています。ご使用の際には必ず記載事項をお守り下さい。

 **警告** 以下の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 小さなお子さまの手の届かない場所に保管して下さい。
ボタン電池やマグネットを間違えて飲み込むなど事故やけがの原因となります。

製品の誤動作と故障を防ぐために

本表示の内容を無視して誤った取扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できない、もしくは機能停止を招く内容を示していますので、ご使用の際には必ず記載事項をお守り下さい。

 **注意** 以下の内容を無視して誤った使い方をすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

 分解、改造をしないで下さい。発熱や故障の原因となります。なお本製品の改造は電波法違反になります。

 水をかけないで下さい。本製品は防水仕様ではありません。極度の多湿環境や、雨が降りかかる環境下では使用しないで下さい。故障の原因が水漏れであると判明した場合、保障の対象外となります。

落としたり、強い衝撃を与えたり曲げたりしないで下さい。無理な力が加わると故障の原因となります。

内部に水などが入った場合や、煙が出ている・変なにおいがするなど、異常の場合には直ちに使用を中止して下さい。

そのまま使用し続けると発熱の原因となります。以下を実施していただき、お問合せ窓口へご連絡下さい。

- ・ 本体：直ちにACアダプタを抜き、電源をお切り下さい。
- ・ センサ：速やかに電池を抜いて下さい。

本体を移動するときは、ACアダプタおよびLANケーブルを取り外して下さい。接続したまま持ち運びをすると、コネクタなどに誤って衝撃が掛かり、故障の原因となります。

 使用しない時は端子が汚れないように保管して下さい。ほこり等により本製品の端子が汚れると利用できないことがあります。

長期間使用しない時は、センサから電池を取り外して下さい。
センサーに電池を入れたまま長期間放置すると、電池の液漏れにより故障の原因になります。

汚れたり水滴が付いたりした時は、乾いた柔らかい布で拭きとって下さい。
ベンジン、シンナー、洗剤などを用いると、外装や印刷が変質することがあります。

日本国内で使用して下さい。本製品の仕様は日本国内向けとなっています。

海外では電波の制度が異なりますので使用できません。

使用場所により通信できない場合があります。
電波の遮断された建物の中、電波の届かない山中、強い電波が発射されている放送局の近辺などでは通信できない場合があります。

本製品の周りに金属板などの遮蔽物がある場合は、通信の妨げになることがあります。

本製品の近くに、磁気や電磁波を発する製品（電子レンジなど）があると、誤動作の原因となることがあります。

 注意する事

 しては行けない事

 必ず守る事

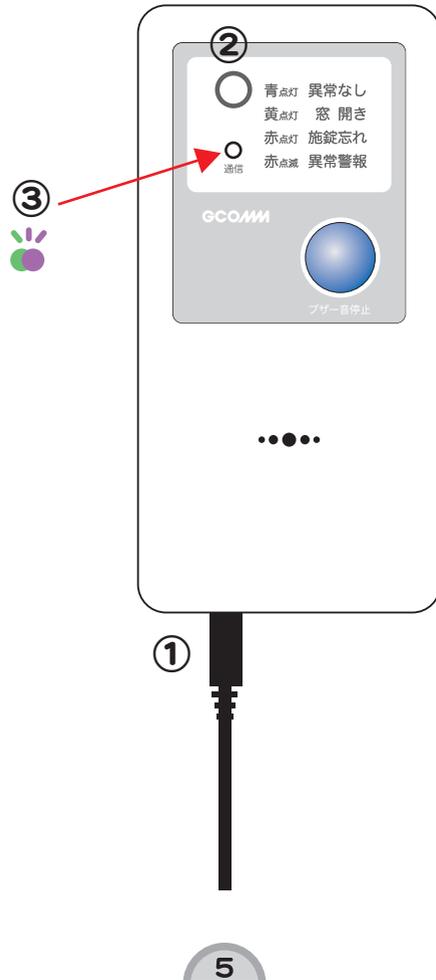
免責事項

1. 本製品は強盗、盗難、空き巣等の被害を未然に防ぐ犯罪防止機器ではありません。万一、被害などが発生しましても、当社は一切の責任を負いません。
2. 火災および地震などの災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
3. 製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（設置場所の物理的な変化や劣化、記録データの変化・消失、通信などの機会を逃したために生じた損害、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
4. 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組合せによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

3. 準備

本体の起動

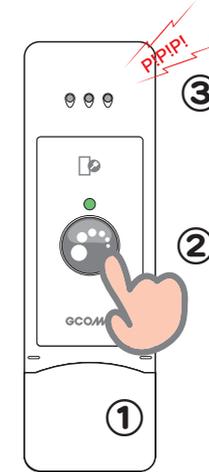
1. ①電源プラグを本体に差し込み、ACアダプタをコンセントに差し込んで下さい。
2. ②ランプ（大、小）が白色に点灯した後、消灯します。
3. ③ランプ（小）が緑色になった後、紫色に変化すると通信準備状態になります。
(10秒程度時間がかかります)



センサの起動

玄関ドアの施錠、窓の施錠を確認してから次の手順で行います。

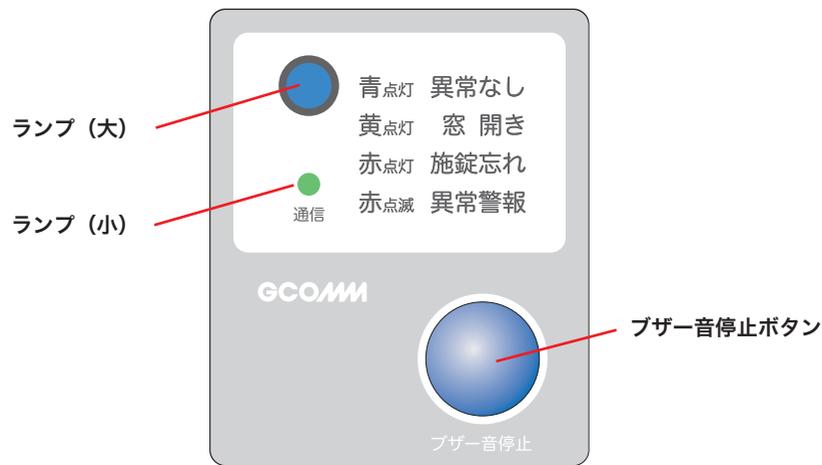
1. ①各センサに電池を挿入してください。
*電池交換の方法は（P10：センサの電池交換）をご覧ください。
2. ②センサのボタンを押してください。
3. ③ピピピと音が鳴れば本体との通信が完了です。



4. 全てのセンサに対して、1～3の操作を行ってください。
5. 本体のランプ（大）が青色点灯し、ランプ（小）が緑色になったら準備が完了です。

4-1. 使い方 -本体の基本操作-

本体の使い方



通常が表示

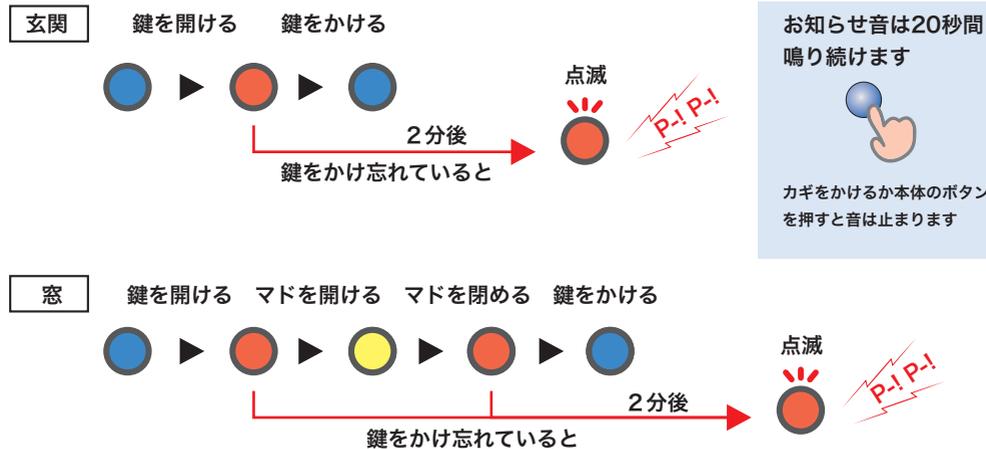
各センサの状態はランプ (大) の点灯色で区別されます。

ランプの色 (点灯)	玄関の施錠	窓の開閉	窓の施錠
	○	○	○
	○	×	×
	×	○	×

*玄関ドアの開閉は検知していません

施錠忘れのお知らせ

日常の行動に合わせて、ランプ (大) の光り方は次のように変化します。



お知らせ音の一時停止 (施錠管理をランプ表示のみで使用したい時)

ブザー停止ボタンを3秒以上長押しすることで、お知らせ音を停止状態にすることができます。

- ボタンを長押し 「ピッピッ」 通信ランプが黄色 音オフ
- ボタンを長押し 「ピィ」 通信ランプが緑色 音オン



異常発生時の表示

異常発生時には、ランプは点滅でお知らせします。

ランプ (大)	ランプ (小)	ブザー	異常状態
			窓センサが衝撃を検知 (ガラス破り等)
		—	センサの電池残量低下
		—	窓センサの磁石異常
		—	センサの通信不良

本体とセンサの両方で
警報音が1分間鳴り続けます。
窓のカギを施錠した状態で、
センサのボタンを押すと
音は止まります。



4-2. 使い方 -センサの基本操作-

センサの使い方

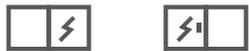
3種類のセンサで、お部屋の開口部の状態を自動的に監視しています。

玄関センサ

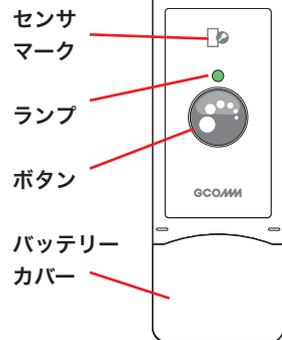


玄関ドアの
施錠/解錠

窓センサ



窓の
開/閉
施錠/解錠



ボタン操作

1. 通信状態の確認



通常状態でセンサボタンを押すと本体との通信状態の確認ができます。

- ・ピピピと鳴れば通信状態は正常です。
- ・ピーと1回だけしか鳴らない時は、電池交換が必要です。

(P10：センサの電池交換を参照)

2. ブザー音の停止



センサの警報音は、窓を施錠した状態で、該当するセンサのボタンを押すと、本体の警報音と共に止まります。

※本体のお知らせ音は、該当するカギを施錠すると止まります。

- ・施錠忘れのお知らせ音 20秒間鳴動後停止
- ・ガラス破りの警報音 1分間鳴動後停止

3. お知らせ音の延長



このマークがあるセンサが対象

施錠忘れのお知らせ音の起動時間（通常2分）を延長または、停止できます。

- ・解錠して1回押す 1時間延長
- ・解錠して2回押す 通知の停止

※該当するカギを施錠すると起動時間がリセットされます。

センサの電池交換（日常のメンテナンス）

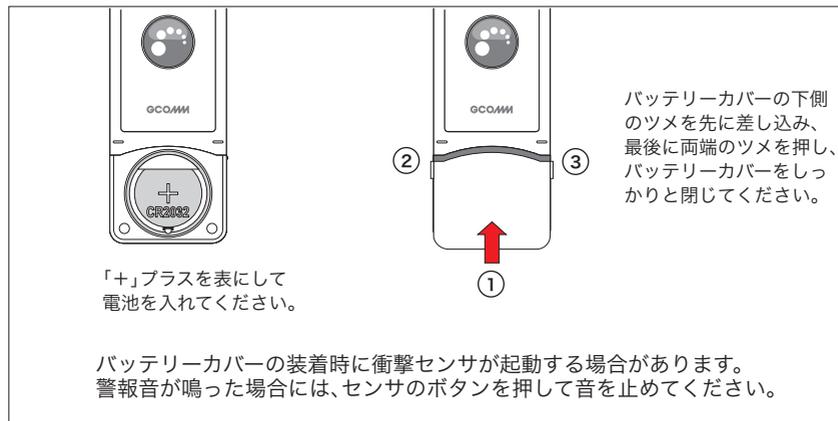
【電池交換サイン】

- ・本体のランプ（大）が青色点滅で、ランプ（小）に紫色がついたら、電池交換のサインです。
- ・センサのボタンを押して、「ピッ」と鳴動した場合は、電池残量が少ないことを意味します。

電池の外し方



電池の入れ方



- ・指定のコイン型リチウム電池（CR2032）を使用してください。
- ・バッテリーカバーを外し、「+（プラス）マーク」を上にして、電池を入れてください。
- ・電池のの挿入方向を誤ると、電極破損に繋がり故障の要因となりますのでご注意ください。
- ・センサは新品の電池を使用して、1年以上稼働するように設計されています。
- ・本体を稼働していない場合には、センサから電池を抜いておいてください。（本体との通信が行えない場合には、電池寿命が大幅に短くなります）

5-1. お知らせメール機能 -準備-

お知らせメール機能

次のサービスを携帯端末に送信することができます。
(送信先メールアドレスは5件まで設定可能)

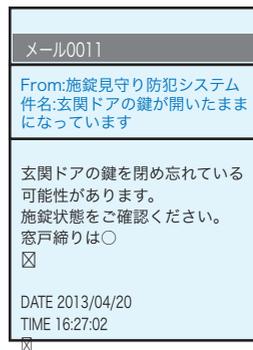
お知らせ通知

- 玄関ドアのカギを閉め忘れた時
- ガラス破りセンサが作動した時
- センサの電池残量が低下した時
- センサの通信不良が起きた時

問合せ通知

- 外出先からお部屋の施錠状態を確認できます

*お知らせメールの一例



準備

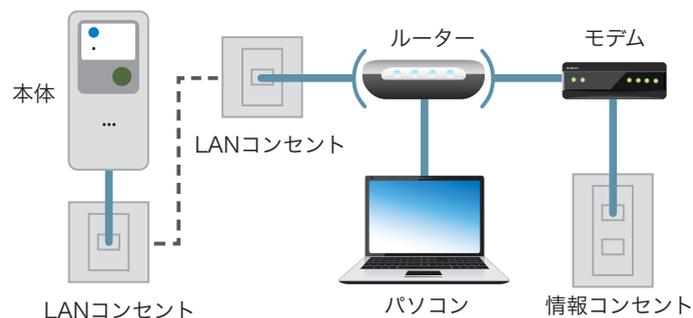
お知らせ機能を本体に設定するためには、以下のいずれかの品をご用意いただく必要があります。

Windowsパソコン : Java 6以降インストール済み
MACパソコン : OS Version 10.6以降
Android端末 : OS Version 3.1以降

※インターネットに接続できる機能 (Wi-Fiも可) が搭載されていること。

本体の接続

- 1.インターネット (固定回線) をつなげる。
- 2.モデム (またはルーター) と壁のLANコンセントをつなぐ。



5-2. お知らせメール機能 -ソフトのインストール-

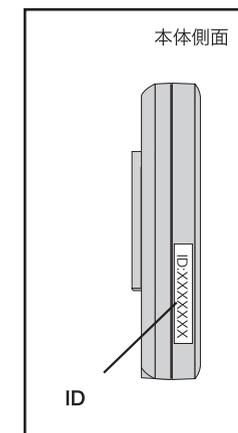
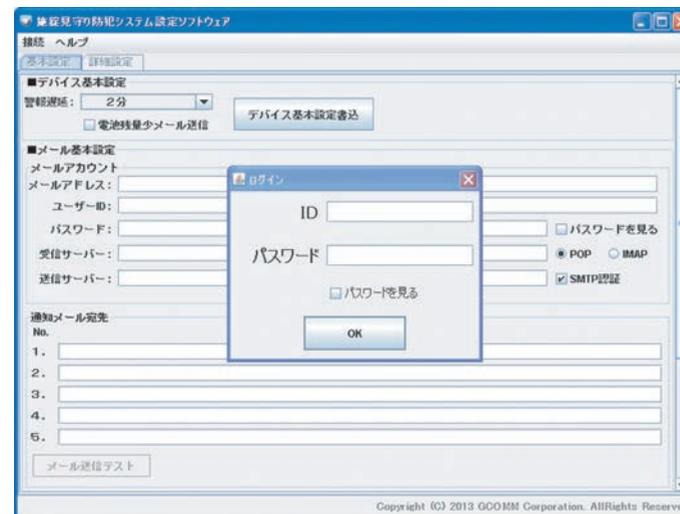
設定ソフトのインストールと起動

本書では、Windows用の設定方法を解説しています。
その他の端末の各設定方法は、オンラインマニュアルをご参照ください。

オンラインマニュアル、ソフトウェアのダウンロード
http://www.gcomm.co.jp/se_support/

1. 上記のダウンロードサイトから「施錠見守り防犯システム設定ソフト」をダウンロードしてください。
2. 設定ソフトのインストーラーをダブルクリックして、ソフトをパソコンにインストールします。
3. インストールが終了すると、デスクトップには「施錠見守り防犯システム」のアイコンが表示されます。
4. ソフトを起動すると、自動的にLANに接続されている本体を検索します。
5. ログイン画面が現れたら、本体側面に貼られているIDを入力します。
次にパスワードを入力して【OKボタン】をクリックします。
6. パスワード認証が完了すれば、本体とパソコンの接続が完了です。

*仮パスワードは12345678の設定になっています。一度本体と接続した後に、詳細設定タブから必ずパスワードの変更を行ってください。(P17:パスワードの変更を参照)



5-3. お知らせメール機能 -メール設定-

お知らせメール機能を設定するには、ご契約のプロバイダから提供されるアカウント情報が必要です。既に取得されているもの、新規に取得されたもののどちらでも利用できます。

① メールアカウント

ご契約のプロバイダから提供されるアカウント情報を入力してください。

- **メールアドレス** 利用するメールアドレスを入力します。
(※携帯電話のメールアドレスではありません)
- **ユーザーID** 登録されているユーザーIDを入力します。
- **パスワード** 登録されているパスワードを入力します。
- **受信サーバー** 受信サーバーのアドレスを入力します。
※「POP」か「IMAP」を選択します。
- **送信サーバー** 送信サーバーのアドレスを入力します。
※SMTP認証が必要な場合、「SMTP認証」を選択します。

普段ご利用のメールアドレスをご利用になる場合は、パソコンメールソフト（OEなど）のメニュー／ツール内のプロパティ画面よりアカウント情報が確認できます。

※各プロバイダのアカウント情報については、P16または、ご契約のプロバイダへ直接お問い合わせください。

② 通知メール宛先

ご自身が携帯電話等で通知を受け取るための送信先メールアドレスを設定します。送信先は5件まで設定できますので、ご家族宛などご自身以外の方への送信も可能です。

③ 問合せ通知用キーワード

問合せ通知を行うためのキーワードを設定します。

- **送信メールの件名（タイトル）**：例「教えて」
- **送信メールの本文（合言葉）**：例「安心」

*タイトルと合言葉は任意に設定することができます。

*デフォルト状態でご使用する場合は入力不要です。

*問合せ通知を受けるための送信先は、①メールアカウントで設定したアドレスになります。

④ 設定内容の保存と接続確認

- ④ **メール基本設定書込** ボタンを押すと設定内容が保存され、
- ⑤ **メール送信テスト** ⑥ **メール受信サーバー接続テスト** の各ボタンがアクティブになります。

必ずメール送信テスト・受信サーバー接続テストを行ってください。

サンプル画面：サンプル入力（yahoo mail）を行った画面です。

記述方法はプロバイダごとに異なりますので必ずご契約のプロバイダ情報を確認してください。

※設定した内容は、**メール基本設定書込** ボタンを押すまでは反映されません。

※本システムではご利用いただけないプロバイダ（gmail,hotmail等）のメールアドレスもごさいます。

※メールサーバーの制約については、（詳細設定ページ：主要プロバイダの設定情報）を参照してください。

通信エラー表示

通信に関するエラーはランプの色と光り方でお知らせします。

ランプ (大)	ランプ (小)	異常状態
		異常状態
		センサ未登録
		メール送信/受信サーバー接続エラー
		インターネット環境の接続エラー

短い赤点滅
周期的に赤が混ざる
周期的に紫が混ざる

メールサーバーへの接続についての詳細事項 (参考)

ユーザーID パスワード	受信サーバー と 送信サーバーへは、同一のユーザーIDとパスワードで接続します。 両者で異なるユーザーIDでの接続を求められる場合には、一部機能が利用できなくなります。(Gyao!のメールサービスなど)
受信サーバー (POP3) (IMAP)	POP3 にチェック: 110 IMAP にチェック: 143 のポート番号で接続します。 それ以外のポート番号での接続が必要な受信サーバーには対応していません。 (Gmail, hotmailなどの一部のフリーメールサービスなど)
送信サーバー (SMTP)	SMTP認証にチェックを入れた場合: 587 入れない場合: 25 のポート番号で接続します。 ※SMTP認証にチェックを入れない場合にはPOP before SMTPで接続します。

主要プロバイダの設定情報 (参考)

プロバイダ名	ユーザーID	受信サーバー 送信サーバー	SMTP認証
AOL	メールアドレス	pop.aol.com smtp.aol.com	必要
ASAHIネット	ASHIネットID	pop.asahi-net.or.jp mail.asahi-net.or.jp	必要
@nifty	メールアドレスの@以前	pop.nifty.com smtp.nifty.com	必要
au one.net	aまたはmではじまる アルファベット10文字	メールアドレスによって異なる メールアドレスによって異なる	必要
Biglobe	メールアドレス	mail.biglobe.ne.jp mail.biglobe.ne.jp	必要
DTI	メールアドレス	pop.mars.dti.ne.jp など vsmtm.mars.dti.ne.jp など	必要
Hi-Ho	メールアドレスの@以前	メールアドレスの@以降 メールアドレスの@以降	必要
OCN	メールアドレスの@以前	メールアドレスの@以降 smtp.vcの後ろにメールアドレスの@以降	必要
Plala	メールアドレスの@以前	* * *.mail.plala.or.jp * * *.mail.plala.or.jp	必要
So-net	メールアドレス	pop.so-net.ne.jp mail.so-net.ne.jp	必要
WakWak	メールアドレスの@以前	メールアドレスの@以降 メールアドレスの@以降	必要
Yahoo! BB	メールアドレスの@以前	ybbpop.mail.yahoo.co.jp ybbsmtp.mail.yahoo.co.jp	必要
Yahoo! メール	メールアドレスの@以前	pop.mail.yahoo.co.jp smtp.mail.yahoo.co.jp	必要

ご注意

この情報は2009年11月に独自に調査した主要プロバイダの情報であり、お客様の契約時期などによっては異なることがあります。必ずプロバイダ様より発行される情報を確認してください。
弊社は以上のプロバイダにおいて動作を保証しているものではなく、フリーメールの利用も推奨しておりません。

Yahoo!メールにおいて、POP/SMTPによる接続をおこなうためには、
[メールオプション]で”POPアクセス”を設定し、Yahoo!デリバー への登録が必要となります。
詳しくはYahoo!メール様のヘルプ等でご確認ください。

5-4. お知らせメール機能 -詳細設定-

本体の初期化（個人情報の消去）

本体の内部保存情報を初期化すると、下記の項目がリセットされます。

- 警報遅延時間が、2分に戻ります。
- メールアカウント、通知メール宛先が消去されます。
- IPアドレス取得方法が、「DHCPを使用する」に戻ります。
- パスワードが、12345678に戻ります。

初期化手順

1. ブザー停止ボタンを押したまま、電源プラグを挿入します。
2. ランプ（小）が赤点灯し、消灯したらボタンから指を離します。
3. ランプ（小）に緑色がついたら初期化完了です。

パスワードの変更

【詳細設定】のタブを押して、ログインパスワード変更の項目にて、ログインする際のパスワードを、任意のパスワードに設定できます。

1. 旧パスワードを入力後、新しいパスワードを2回入力してください。
2. 「確認」ボタンを押して、入力欄下のメッセージを確認してください。
3. 「デバイス詳細設定書込」ボタンを押すと、変更パスワードが反映されます。

【パスワードを忘れてしまったら・・・】

本体の初期化をすることで、パスワードが12345678に戻ります。

本体のカスタム設定

- お知らせ音遅延：施錠忘れが発生してからお知らせ音が鳴動されるまでの時間を設定できます。
（P14：⑦参照）
- 電池残量少メール送信：電池残量少のセンサがある場合、毎日昼の12時にメールにて、指定したメール宛先（最大5件）に通知させることができます。
（P14：⑧参照）

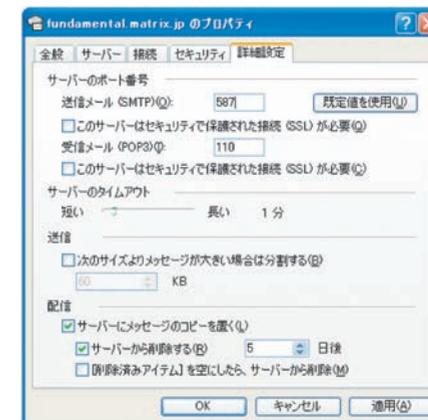
*設定した内容は、「デバイス基本設定書込」ボタンを押すまで反映されません。

パソコンのメールソフトで利用中のメールアドレスを併用する場合

パソコンのメールソフトに設定しているメールアカウントを、本体にも設定する場合、受信メールを、1日以上サーバーに残す設定にしないと、本体への問い合わせ通知に対する返信が得られない場合があります。その際は、下記手順を参考に、サーバーにメールを一定期間残す設定をして下さい。

Outlook Expressの場合(Windows XP付属)

1. Outlook Expressを起動します。
「ツール」から「アカウント」を選択します。
「インターネットアカウント」「メール」タブが開きます。
設定したアカウントと同じものを左クリックで選択し右側の「プロパティ」ボタンを押します。
3. プロパティ画面が開きます。
電子メールアドレスがメール通知に使用するものと同じかどうか確認し、詳細設定タブを開きます。
4. 「配信」の部分を変更します。
 - サーバーにメッセージのコピーを置くにチェックを入れてください。
 - サーバーから削除するにチェックを入れてください。（「1日後」以上に設定してください）
5. 必ず「適用」ボタンを押してください。



Windowsメールの場合(Windows Vista付属)

1. Windowsメールを起動します。「ツール」から「アカウント」を選択します。
2. 「インターネットアカウント」が開きます。
「メール」の項目の中から、設定予定のメールアカウントのものを選択し「プロパティ」ボタンを押します。
3. 「プロパティ」が表示されます。「詳細設定」を選択しサーバーに残す期間を設定します。

Windows Liveメールの場合

1. Windows Liveメールを起動します。
画面左側に出ているメールアカウント名の部分を右クリックし、プロパティを選択します。
（▲が出ている部分：名前は任意なのでメールアドレスをプロパティで確認してください）
2. プロパティが表示されます。
3. 「詳細設定」を選択しサーバーに残す期間を設定します。

6. FAQ -よくあるご質問-

FAQ（よくある質問）サポートを依頼される前に以下のことをご確認ください。

(1) 設置・取付に関する質問

Q:【本体やセンサを取り付けたい場所の近くに電子レンジがあります。通信は妨害されませんか】

本体やセンサが利用する周波数は、電子レンジが発する電波の周波数とは異なるため、混信・妨害の影響は受けにくくなっています。ただし、無線LANへは電子レンジの発する電波が影響を与えます。無線LANでの通信を行う場合、パソコンおよび無線LANルーターは、電子レンジから離して設置してください。

Q:【窓センサは、風や台風などの揺れで警報は鳴りますか】

風雨による振動は異常として検知しない設計になっております。

Q:【一度取付けたセンサを違う場所に取り付けて使用できますか】

センサを取り外すと、破損してしまう場合がありますので、センサの取り外しはご遠慮下さい。取り外す際に生じた貼り付け面およびセンサ本体の損傷について、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

(2) 基本動作に関する質問

Q:【本体の電源を入れ直したら、ランプが消灯した】

本体の電源を入れてから暫くの間は、状態ランプが消灯します。約1時間で、全てのセンサと本体との通信が自動的に復旧します。急ぐ場合には全てのセンサのボタンを押してください。

Q:【窓が開いていて玄関が開いていると表示はどうなるの？】

窓が開いていて玄関が未施錠の時は、玄関の未施錠の方を優先して表示します。なお、ガラス破りは未施錠より優先して表示され警報を発生します。

Q:【窓を開けた時、表示が赤のまま未施錠のお知らせが出ますがどうしてですか？】

窓開けがわずかな場合は未施錠判定（表示：赤）になることがあります。その場合は、もう少し窓を開ければ窓開（表示：黄色）になります。また、センサと磁石の構造上、赤表示の領域の一部分に黄色表示される部分があります。

(3) 本体に関する質問

Q:【ランプ表示が、クレセント、窓センサに異常がないのに時間が経つと変わってしまう】

センサとマグネットの位置が離れすぎている可能性があります。管理会社にご連絡ください。

Q:【ランプ(小)が点滅しなくなりました】

ランプ(小)が点滅しなくなった場合は、本体の故障が考えられます。施錠してもランプ(大)の表示が正常でない場合には、管理会社にご連絡ください。

Q:【ランプ(大)が紫色の表示になった】

サッシの屋外側に貼られている磁石をご確認いただき、磁石が外れている様でしたら管理会社にご連絡ください。

Q:【ランプ(大)が消灯してしまった】

本体と通信できていないセンサがあります。全てのセンサのボタンを押して、「ピー」と鳴るセンサがある場合、そのセンサや本体周辺にある金属板などの遮蔽物を移動してください。特に窓開けの際に、窓枠の裏にセンサが隠れないように注意してください。

(4) センサに関する質問

Q:【センサの電池交換時に蓋を開け閉めしたら警報が鳴った】

電池蓋を開け閉めする時に、センサ本体に振動が加わると警報を発生することがあります。センサボタンを押して警報を止めて下さい。その際、施錠された状態でボタンを押してください。

Q:【施錠や窓開けの時、センサから「ピー」という音がする】

施錠や窓開けの時に、センサと本体の通信ができないと「ピー」という音が鳴ります。ランプ(大)の表示が、施錠の実態と異なる可能性があるため、注意喚起で音を発生させています。もう一度施錠をやり直してください。頻繁に「ピー」という音が鳴るようであれば、管理会社にご連絡ください。

Q:【センサ動作が正常かどうか確認したい場合はどうするの？】

センサ中央のボタンを押してビビビとなることを確認下さい。また、ガラス破りについてはガラス面を比較的強く10円玉でパチンとはじいて下さい。このとき警報が鳴ればセンサは正常に動作しています。

Q:【お知らせ通知音を鳴らさない様にしたい(子供がお昼寝しているので、静かにしたい)】

本体のボタンを3秒以上長押しすることでお知らせ音を消すことができます。その場合、鍵のかけ忘れなどがあってもお知らせ音は鳴りませんので、本体のランプ色で施錠状態をご確認ください。音を出したい場合は、再度本体ボタンを長押ししてください。

Q:【お知らせ通知音のボリューム調整はできないの？】

ボリューム調整はできません。音が大きすぎると感じる時は、本体のボタンを長押しして、音無しモードで使用して下さい。

Q:【お知らせ通知音が鳴るまでの時間を延長したい】

延長したいセンサのボタン（窓の場合はクレセント側）を1回押せば、1時間延長されます。

Q:【お知らせ通知を延長する際、どちらのセンサのボタンを押せばいいの？】

クレセント（鍵）側のボタンを一度押してください。両方押す必要はありません。
注）鍵を開けてからボタンを押して下さい。開ける前に押しても通知は延長されません。

Q:【センサボタンを1回押してお知らせ通知延長をしたけど、どうやったら復帰できるの？】

施錠することにより自動復帰します。施錠後、施錠忘れが起こった場合には所定の時間で通知されます。

Q:【お知らせ通知音を停止する場合、センサーのボタンと本体のボタンではどう違うの？】

センサのボタンを押して停止した場合はそのセンサのみ停止で他のセンサは音を出します。本体のボタンで停止すると全てのセンサで未施錠の音を消すことができます。この場合でもガラス破りは警報を発生します。

Q:【お知らせ通知音が鳴るまでの時間設定は変更できるの？】

本体とネットワークでつながっているパソコンから設定できます。P14：本体のカスタム設定をご参照ください。

Q:【特定のセンサだけお知らせ通知を停止するにはどうしたらいいの？】

長時間の無施錠状態は危険でもあるのでお勧めはできません。特定のセンサの通知を停止したい時は、センサボタンを2回押すと未施錠通知をその窓だけ停止することができます。再度施錠するとお知らせは自動で復帰します

Q:【ガラスに腕時計が当たったらセンサの警報音が鳴った】

センサ本体に衝撃を与えたり金属など硬い物でガラスをたたくと反応するように設計してあります。なるべくそれらの行為を避けてご使用ください。

Q:【センサの電池残量が少なくなったことを知ることはできるの？】

全てのドアや窓にかギがかかっている状態で、本体のランプ(大)が青点滅して、ランプ(小)に紫色がついた場合、もしくは、センサのボタンを押して「ピッ」と鳴動した場合は、電池残量が少ないことを意味します。また、メールによる通知を設定している場合には、毎日昼の12時に通知がきます。

Q:【センサの警報ブザー音の大きさはどのくらいですか】

センサの警報ブザー音量は約70dB（デシベル）/mです。（携帯電話の最大着信音より少し大きい程度）窓センサがガラス破りを検知したときに鳴動します。

6. FAQ -よくあるご質問-

(5) メールに関する質問

Q: 【外出先で通知メールを受け取るにはどうすればいいの？】

本体の設定が必要です。P11～14：お知らせメール機能-メール設定を行ってください。
※メールアドレスを変更された場合は、本体へ新しいメールアドレスを設定し直してください。

Q: 【本体のIDナンバーはどこに記載されているの？】

本体側面のシールに記載されています。

Q: 【窓の未施錠ではお知らせメールは来ないの？】

施錠忘れメールに対応しているのは玄関のみです。
外出先で窓の施錠忘れが不安な場合には、メールによる施錠状態問い合わせをご確認ください。

Q: 【外出先からメールで家の施錠状態を問い合わせましたが、返信メールが来るまで時間がかかる】

本体のメール確認間隔は3分となっています。
また、通信環境にもよる部分があります。目安としては、3分+αとお考えください。

Q: 【メール送信は正常に行われるが、施錠状態問い合わせメールができない】

1. 受信サーバーの設定・合言葉などが間違っている可能性があります。
2. 問い合わせメールはテキスト形式で送信してください。HTML形式やリッチテキスト形式は利用できません。
3. パソコンのメールソフトが施錠状態問い合わせメールをサーバーから削除している可能性があります。
メールテスト機能を使ってメール受信サーバーへ接続できることを確認してください。(P13～P16：メール設定参照)

Q: 【「アカウント」の「ユーザーID」と「パスワード」に何を入力したらよいか分かりません】

多くの場合、お客様がインターネットプロバイダと契約されたときの書類に記載されています。
パソコンでご利用中のメールアドレスを併用する場合、メールソフトに設定されているアカウント情報からユーザーIDなどの情報を得ることができます。アカウント情報についてご不明な点がある場合は、ご契約されているプロバイダのサポート窓口へお問い合わせください。

Q: 【本体に設定するメールアカウントにフリーメールのアカウントを使用できますか】

一部のフリーメールでは動作することを確認しておりますが、使用は推奨しておりません。

Q: 【特定の携帯電話へのみメールが送られてきません】

送信元のメールアドレスが、迷惑メール拒否設定がされていないか確認してください。

Q: 【個人情報を消去するにはどうしたらいいですか】

本体の初期化作業を行ってください。P15：本体の初期化をご参照ください。

Q: 【本体に設定した、携帯電話のアドレスを消したい】

一度本体の電源を抜き、本体のボタンを押しながら、電源を挿入して下さい。この状態でアドレスは消去されます。

(6) 詳細設定タブに関する質問

Q: 【ログインパスワードは必ず設定しなければならないのですか？】

他人に本体の設定を変更されるのを防ぐために、必ずログインパスワードを変更してください (p17参照)。
ログインパスワードを忘れてしまった場合は、p17の「本体の初期化」を行ってください。

Q: 【本体のIPアドレスを固定にする方法はありますか？】

本体は通常DHCP機能が選択されています。本体のIPアドレスを固定にしたい場合は、「Device Network Information」の項目にて、「▼」をクリックすると表示される本体のネットワーク情報の「DHCPを使用する」の選択を外して、必要な情報を入力してから「デバイス詳細設定書込」のボタンを押します。設定ソフトを一旦終了して、10秒後に再度立ち上げます。間違えた値を設定してしまった時には、p17の「本体の初期化」を行ってください。

(7) 運用に関する質問

Q: 【設定ソフトが導入されたパソコンは、常に電源を入れておく必要がありますか？】

異常時のメール送信は本体が行うので、パソコンとの常時接続は不要です。
パソコンはメール設定などを行う場合や、個々のセンサーの電波状態を知りたい場合に必要です。

Q: 【ルーターの電源を止めてしまいました。どのようにすれば復帰できますか】

ルーターの電源を入れなおしてから、本体に電源プラグを挿入してください。

Q: 【停電時にはどうなってしまうのですか】

本体にはバックアップ電池はないので停電中は「異常に対する通知音の発報」「メールによる通知など」全機能が停止します。一方、センサは電池駆動ですので、電池を抜かずにそのまま動作させている限り、ガラス破りがあった場合、衝撃を検知して警報音が鳴動します。停電から復旧すると、施錠見守り防犯システムも自動復旧します。

Q: 【停電から復旧しても、ランプ(大)が消灯したままです】

本体は電源投入時に全てのセンサと通信するまでは消灯しています。1時間程度すればセンサと通信が復帰し施錠状態を表示しますが、早く復旧させるためには全てのセンサのボタンを押してください。

Q: 【外出時、ガラス破りのメールが来た時にはどうすればいいの？】

ガラス破りメールの場合はご家族等が誤って作動させていないかをご確認下さい。
在宅時などご家族による警報発生はセンサボタンを押すことで警報は止まります。
ご家族による誤報でない場合は、身の安全を確保して管理会社に電話するか警察にご連絡ください。

Q: 【センサの電池はどこで購入できますか？】

「CR2032」というコイン型リチウム電池を使用しています。最寄りの電気店・量販店などでお買い求めください。

Q: 【マグネットをなくしてしまいました。どこで購入できますか？】

お手数ですが、管理会社までご連絡ください。

Q: 【設定ソフトのヘルプの受信信号強度とは何ですか？】

[ヘルプ]-[受信信号強度]を選択すると、本体が受信したセンサの電波の強さを示すダイアログが立ち上がります。
施解錠操作をした時に、頻りにセンサが「ピー」と鳴る場合は、ダイアログで電波状態を確認の上、該当するセンサの行の色をご確認の上、管理会社にご相談ください。
※センサの行は、RSSI (受信信号強度) の値が、-85より大きいと水色に、-85以下で-95より大きいと黄色に、-95未満で赤色になります。本体とセンサの通信がない場合は、灰色になります。

Q: 【設定した内容を消去したい (工場出荷時の状態に戻したい)】

本体の初期化作業を行ってください。P15の「本体の初期化」をご参照ください。

Q: 【システムの利用を一時的に止めたい】

本体から電源プラグを抜いて、全センサの電池を抜いてください。
※センサの電池を抜かないと、施解錠操作をする度に、該当するセンサが、「ピー」と鳴ります。

Q: 【玄関のカギを空がけをした場合どうなりますか？】

玄関のカギを空がけした場合は、施錠と判定されるので、空がけはしないようご注意ください。

Q: 【鍵をかけ忘れたまま外出するとどうなるの？】

施錠忘れのお知らせ音は20秒で停止し、その後は、音は鳴らずにランプ表示のみのお知らせとなりますので、外出時には、安全の為に、速やかな施錠をお願いします。

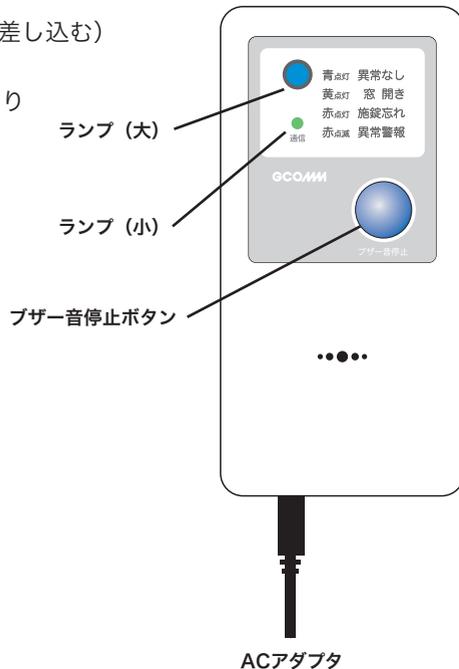
7. 施工後のシステム動作確認 (工事業者用)

設置準備が完了したら以下の手順で動作確認をします。

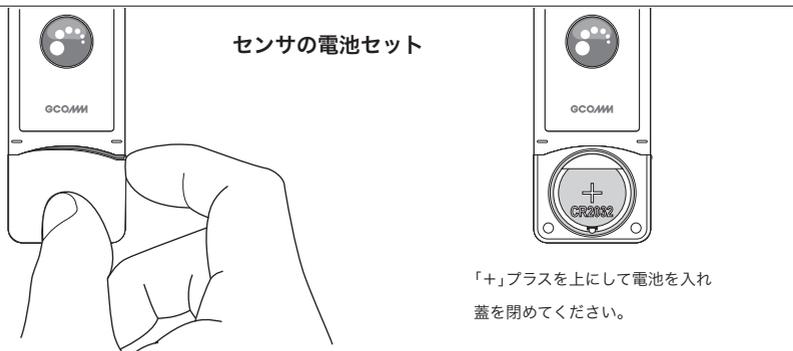
1. システムの起動

1. 本体の電源を入れます。(ACアダプタを差し込む)
2. ランプ (小) が全点灯後、緑/紫色に変わり通信準備状態になったことを確認します。
3. センサに電池をセットします。
4. 全てのセンサを施錠した状態で、全てのセンサのボタンを押します。ピピピと鳴ったら通信が完了です。
5. 本体パネルのランプを確認します。
ランプ (大) : 青
ランプ (小) : 緑点滅

以上でシステムの起動は完了です。



センサの電池セット



2. 玄関センサの動作確認

1. カギを開閉して、本体のランプが変化する事を確認します。
2. カギを開けた状態で2分間待機し、ブザーが鳴る事を確認します。



3. 窓センサの動作確認

1. 全ての窓のクレセント錠を開閉して、本体のランプが変化する事を確認します。
2. 全ての窓を開閉して、本体のランプが変化する事を確認します。
3. 窓を閉め、クレセント錠を開けた状態で2分間待機し、ブザーが鳴る事を確認します。



4. 窓を施錠した状態で窓ガラスをコイン等で叩き、センサが衝撃を検知するのを確認します。

衝撃検知時の動作

ランプが赤点滅し、本体とセンサの両方でブザーが鳴ります。センサのボタンを押して音を止めます。



以上で動作確認は終了です。

memo

25

26